

令和7年産大麦情報第3号

令和7年2月25日
J A 松 任
白山石川営農推進協議会

生育状況

生育は概ね順調ですが、茎数はやや少なめです。(2/18 調査時点)

生育不足（目安：茎数 600 本/m²以下）や生育過剰による葉色の低下（葉色値 4.5 以下）がみられるほ場では、消雪期追肥を実施しましょう。

（消雪期追肥の詳細は裏面へ）

地区名	播種日	茎数 (本/m ²)	葉色値	地区名	播種日	茎数 (本/m ²)	葉色値
宮永市	10/11	643	5.0	竹松	10/14	399	5.3
宮永	10/13	602	5.0	小川	10/12	545	4.8
倉部	10/13	674	5.0	黒瀬①	10/14	538	5.3
徳光	10/10	605	5.5	黒瀬②	10/11	574	5.0
相川新	10/12	578	5.0	北島①	10/12	633	4.7
相川	10/13	704	5.3	北島②	10/14	629	4.9

※本年はほ場に積雪があったため、海岸側のほ場を調査しています。

各ほ場の状況に合わせた栽培管理を実施しましょう。

今後の管理について

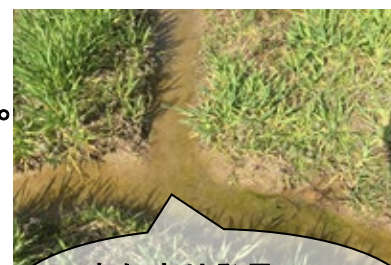
1. 排水の徹底

停滞水は、湿害（生育の遅れや枯死）につながります。

定期的に点検を行い、補修作業（連結等）や

停滞水排除を実施しましょう！

特に融雪後は、しっかりと点検しましょう！



水たまり発見！
→排水を促す！

2. 雑草対策

雑草の多いほ場は除草剤を散布しましょう。

ほ場に発生している雑草の種類に応じて適切な薬剤を選びましょう。

雑草の葉齢を確認して、遅れないよう散布しましょう。

薬剤名	薬剤使用量 /10a	散布液量 (希釈液量)	使用時期	対象雑草	使用 回数
ハーモニー DF	5～10g/10a	100L/10a	は種後～ 節間伸長前 (麦の茎が立つ前まで)	一年生広葉雑草 ※スズメノテッポウ (5葉期まで)	1回 のみ

※上記薬剤のスズメノカタビラへの効果は低いです。

裏面もご覧下さい →

3. 追肥の施用

①消雪期追肥 ほとんどのほ場で追肥は不要と予想されますが、雪解け後のほ場を確認し、生育に合わせた追肥を実施しましょう。

茎数不足(600 本/㎡ 以下)の場合や茎数を確保していても下葉の枯れ上がりが激しい場合は追肥しましょう。

施用条件	施用時期	肥料名	施用量
生育量が少ない場合 (茎数 600 本/㎡以下)	消雪後～ 2 月末 (2/25 ～3/2)	N K 1 7 号	6 kg/10a (窒素成分 1 kg)
		硫安	5 kg/10a (窒素成分 1 kg)
下葉の枯れ上がりが 激しい場合 (葉色 4. 5 以下)		N K 1 7 号	6 kg/10a (窒素成分 1 kg)
		硫安	5 kg/10a (窒素成分 1 kg)

※追肥判断に迷った際は、J A ・農林総合事務所までご相談ください。

4. 出穂予想

止葉展開期追肥施肥の目的 : 細麦防止・充実向上

出穂期	止葉展開期追肥施用目安
4 月上・中旬	3 月下旬～4 月上旬頃 (出穂 10 日前)

止葉展開期追肥の詳細は次号(3月中旬頃発行予定)でお知らせします！

今後の1か月(2/15～3/14)の予報 (2/13 新潟地方気象台発表)

向こう1か月の気温は、寒気の影響を受けやすいため低いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり低くなる見込みです。

降水量は平年並か多い 日照時間は平年並か少ない

降雪量は多く、特に、期間の前半(2月中)はかなり多くなる可能性あり